

令和6年度健康実態調査の結果について（概要）

※【 】で表記した部分は、同一の質問項目に関する昨年度の集計結果である。

1. 調査の目的

平成24年9月に「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が施行され、「カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針」（厚生労働省・農林水産省告示）に基づき、カネミ油症患者の生活習慣、病状、治療内容等について把握し、カネミ油症に関する調査研究を更に推進することを目的とする。

2. 調査期間

令和6年4月～6月末

3. 調査対象及び回答者

各都道府県で把握している1,498人の認定患者（令和6年3月31日時点の調査対象見込者数、前年度1,518人）のうち、死亡や所在不明の方、非協力の意向を示された方等を除いた1,253人【1,283人】から回答を得た。

4. 調査項目

平成20年度に厚生労働省が実施した油症患者に係る健康実態調査の調査項目を元に、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）で、カネミ油症患者の意見を聞きつつ決定した生活習慣、健康状態や悩み、治療状況、これまでにかかったことのある病気・症状などの項目を調査した。

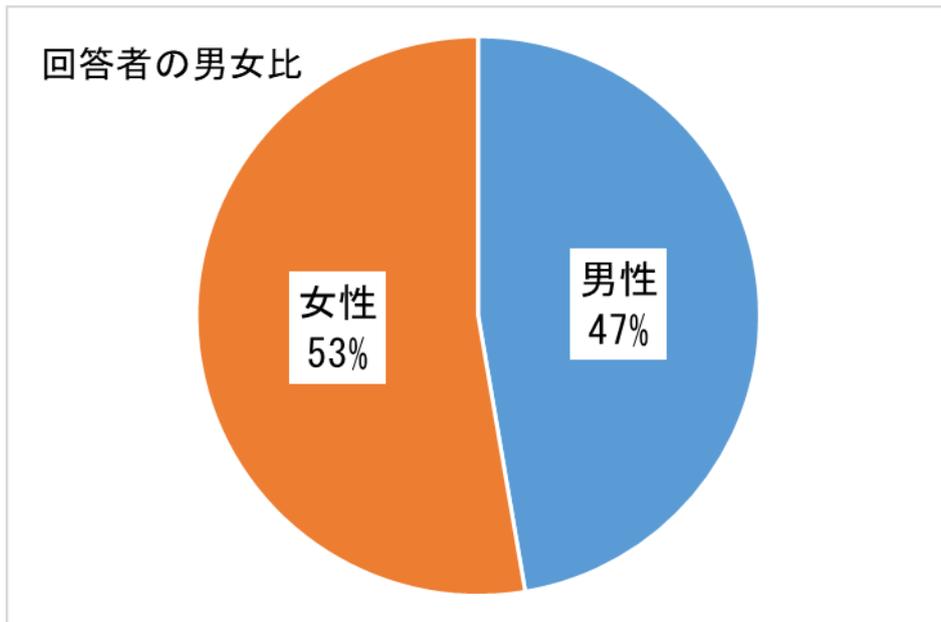
5. 調査結果の活用

調査結果については、アンケートに基づく調査の医学的・科学的解釈の限界に留意しつつ、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）において、過去の健康実態調査及び過去の検診結果等と併せてより詳細な解析を行い、翌年度以降の健康実態調査項目などカネミ油症に関する調査研究に活用される予定である。

6. 調査結果の概要

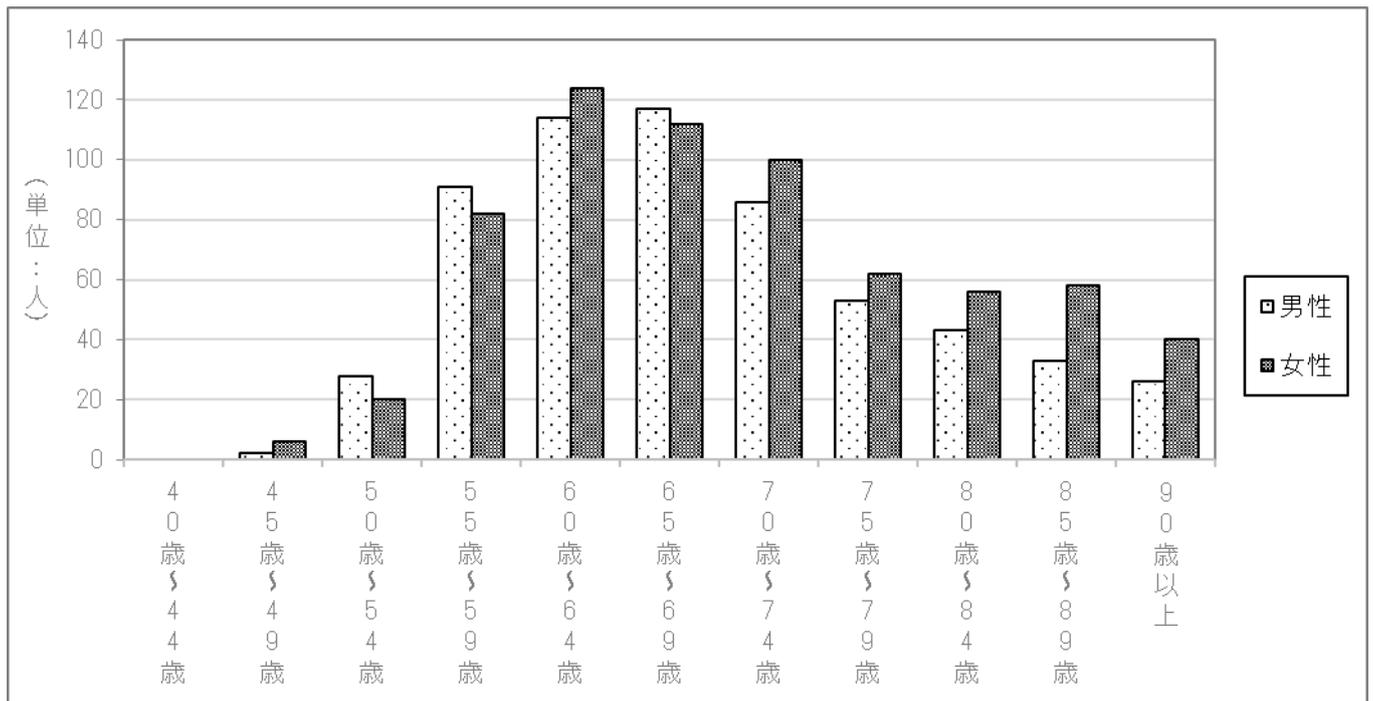
(1) 性別

- ・男性593人【610人】、女性660人【672人】、不詳0人【0人】



(2) 年齢

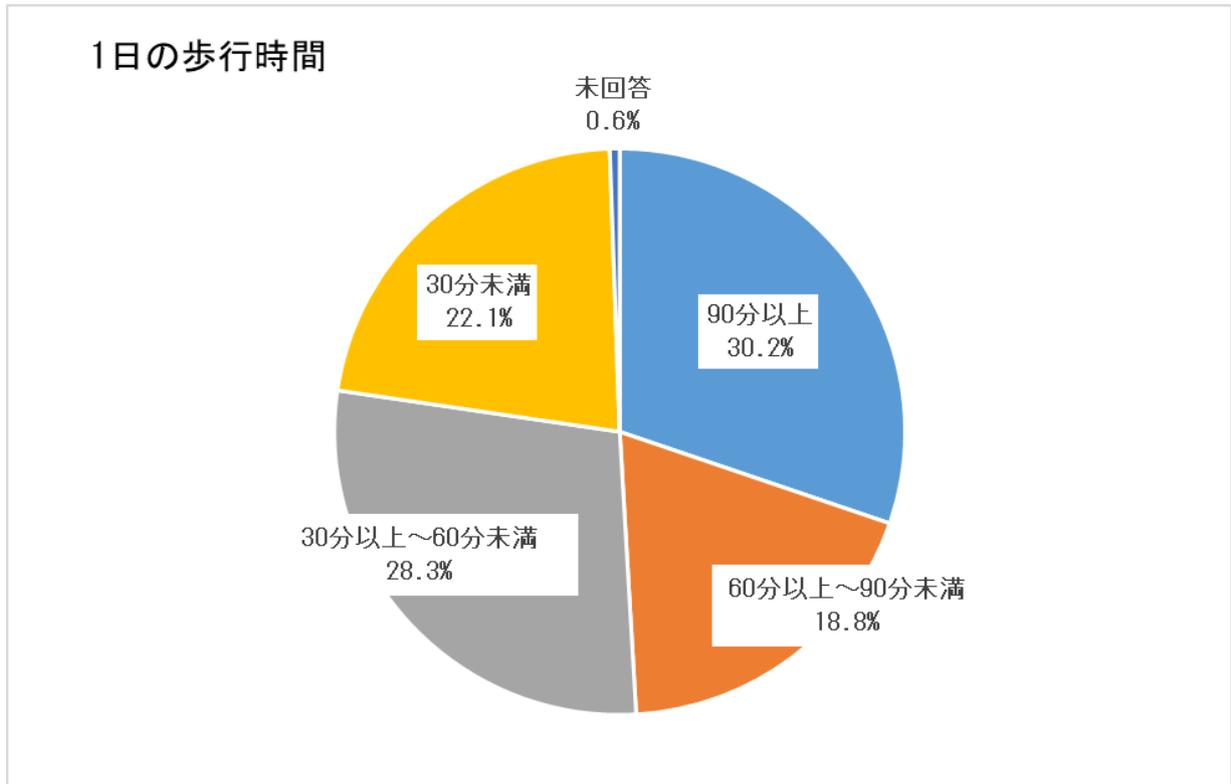
- ・平均年齢は69.6歳【68.9歳】であった。
男性68.6歳【67.9歳】、女性70.5歳【69.9歳】
- ・男性は、「65歳～69歳」の者が117人（19.7%）【前年度114人（18.7%）】と最も多く、次いで、「60歳～64歳」が114人（19.2%）【前年度120人（19.7%）】、「55～59歳」が91人（15.3%）【前年度106人（17.4%）】等の順であった。
- ・女性は、「60～64歳」の者が124人（18.8%）【前年度128人（19.0%）】と最も多く、次いで、「65～69歳」が112人（17.0%）【前年度112人（16.7%）】、「70歳～74歳」が100人（15.2%）【前年度83人（12.4%）】等の順であった。



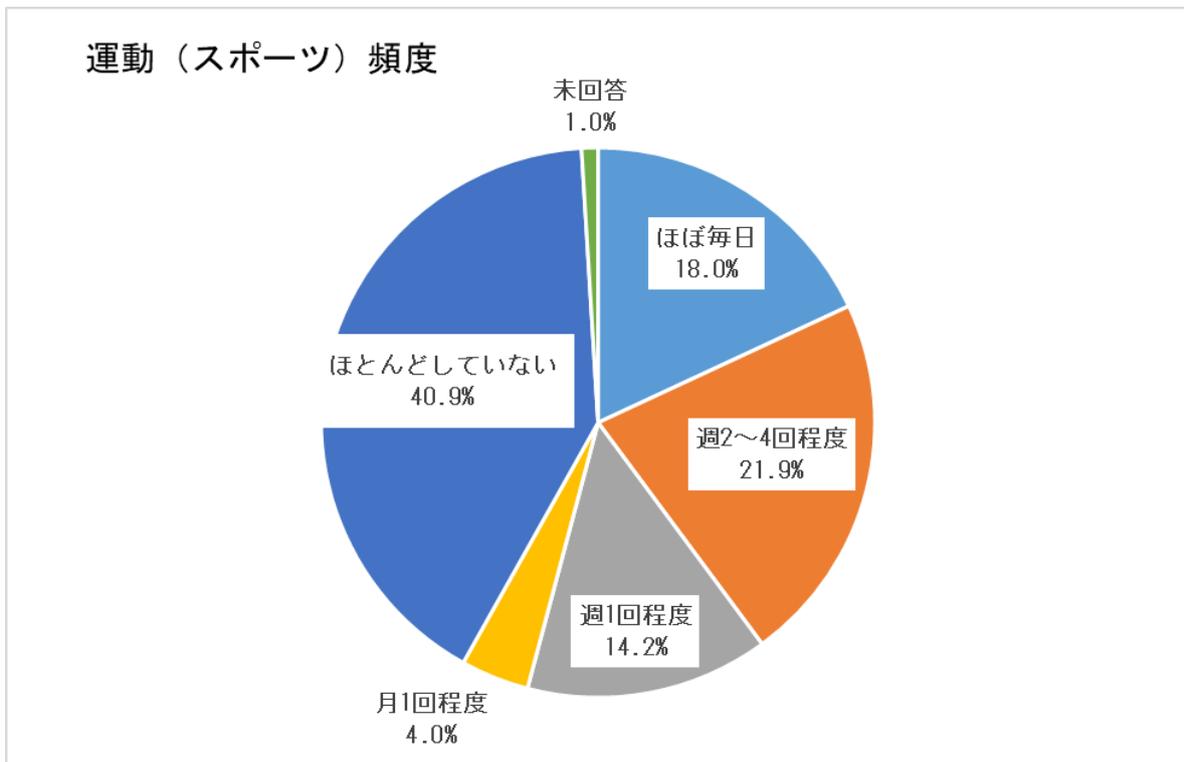
※44歳以下は0人であった。

(3) 生活習慣について

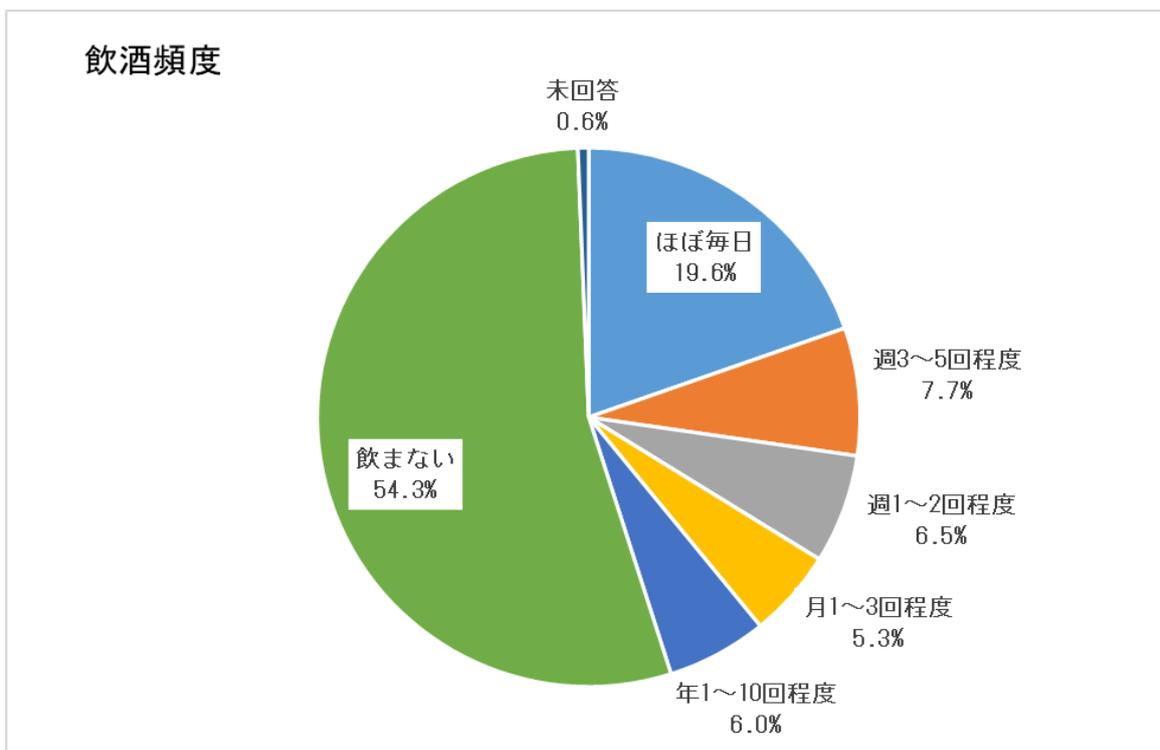
- ・ 1日の歩行時間についてみると、「90分以上」と回答した方が30.2%【31.5%】と最も多く、次いで、「30分以上～60分未満」28.3%【26.2%】、「30分未満」22.1%【21.5%】等の順であった。



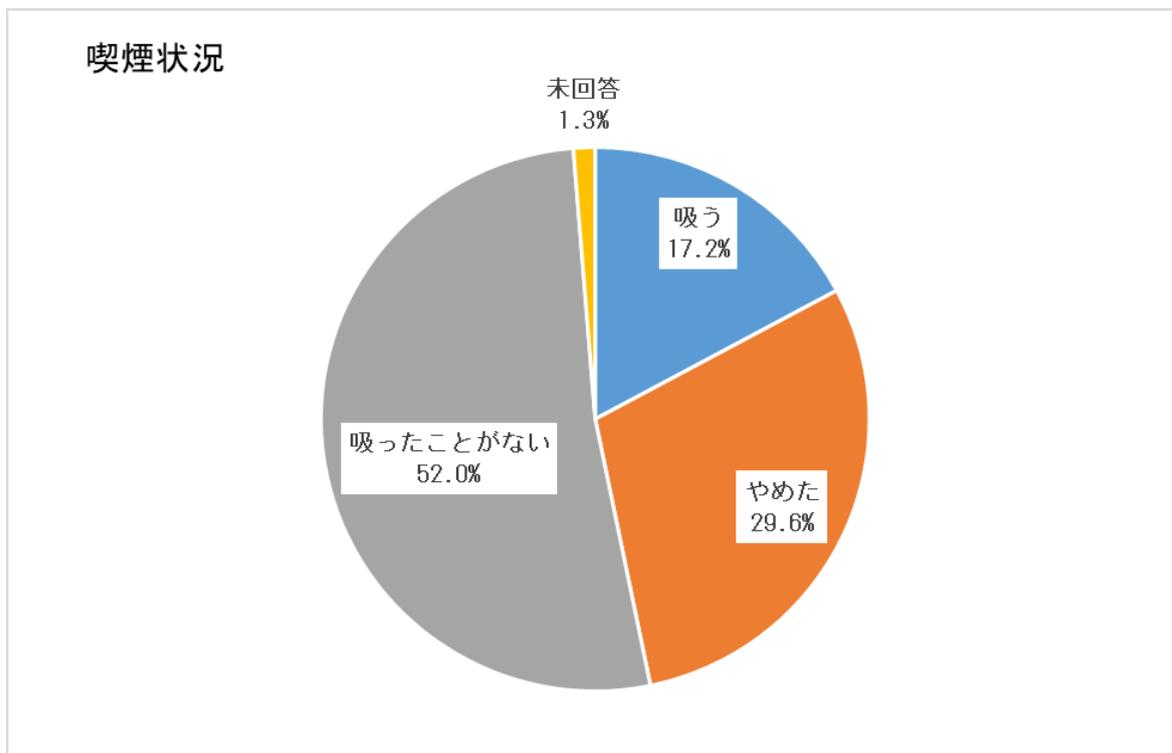
- ・ 運動(スポーツ)頻度についてみると、「ほとんどしていない」と回答した方が40.9%【41.8%】と最も多く、次いで、「週2～4回程度」21.9%【22.9%】、「ほぼ毎日」18.0%【18.6%】等の順であった。



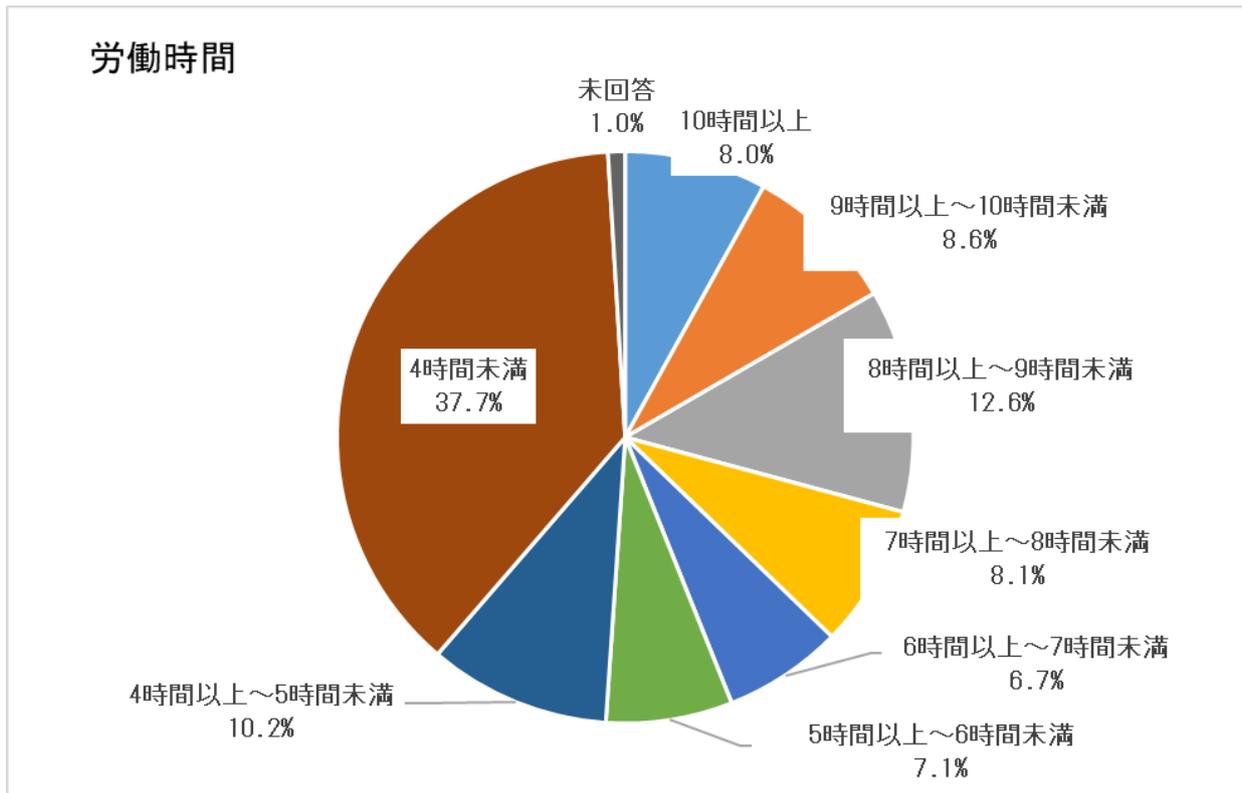
・飲酒頻度についてみると、「飲まない」と回答した方が54.3%【53.9%】と最も多かった。



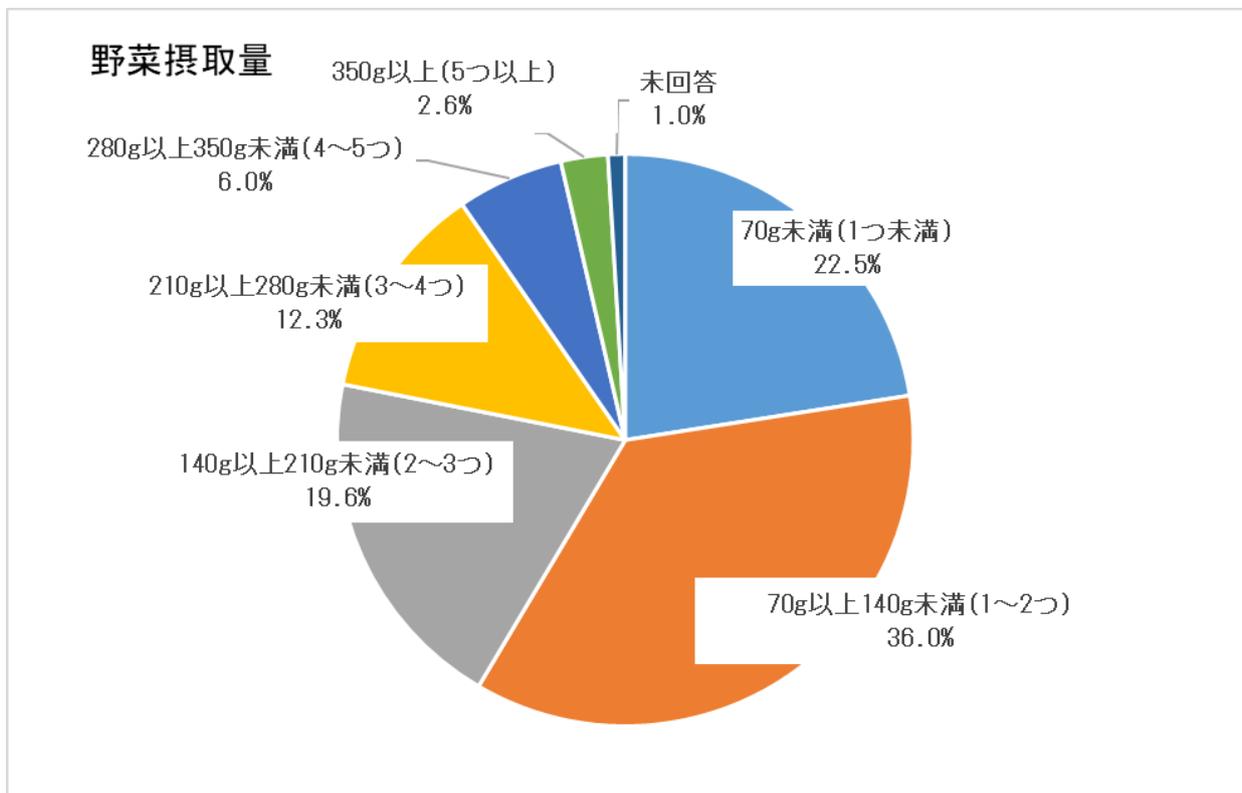
・喫煙状況についてみると、「吸ったことがない」と回答した方が52.0%【52.4%】と最も多かった。



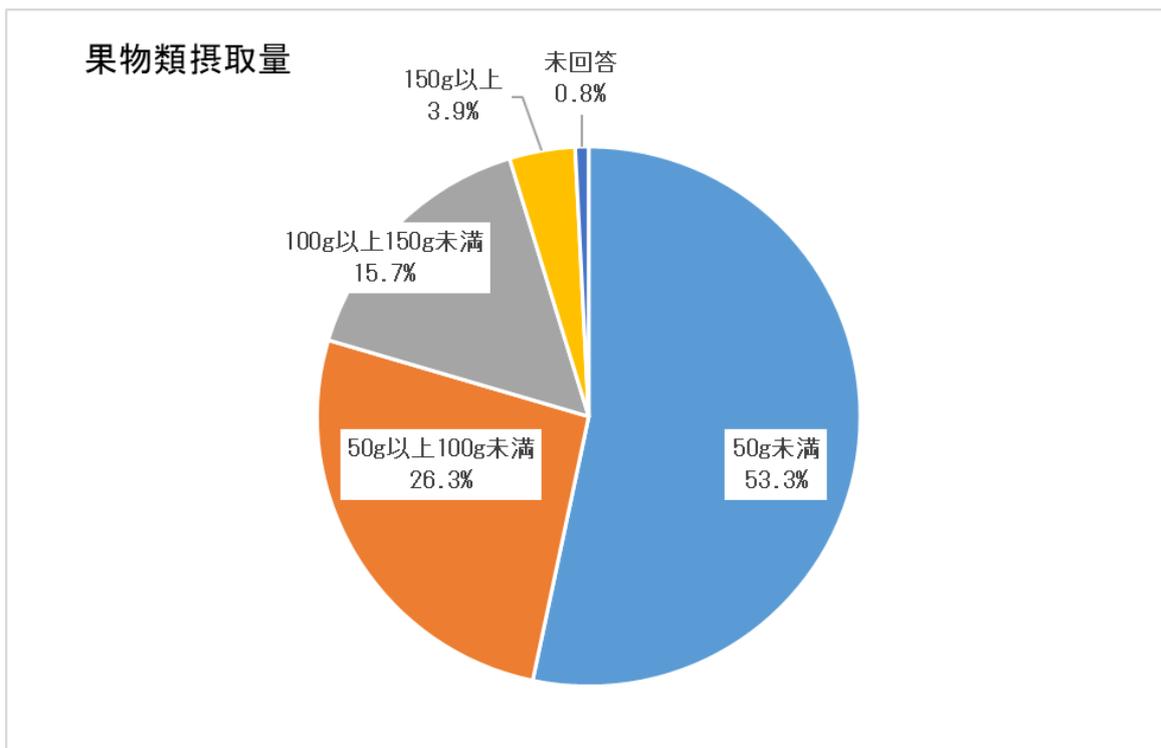
- ・労働時間についてみると、「4時間未満」と回答した方が37.7%【35.8%】最も多く、次いで、「8時間以上9時間未満」が12.6%【12.5%】、「4時間以上5時間未満」10.2%【10.3%】等の順であった。



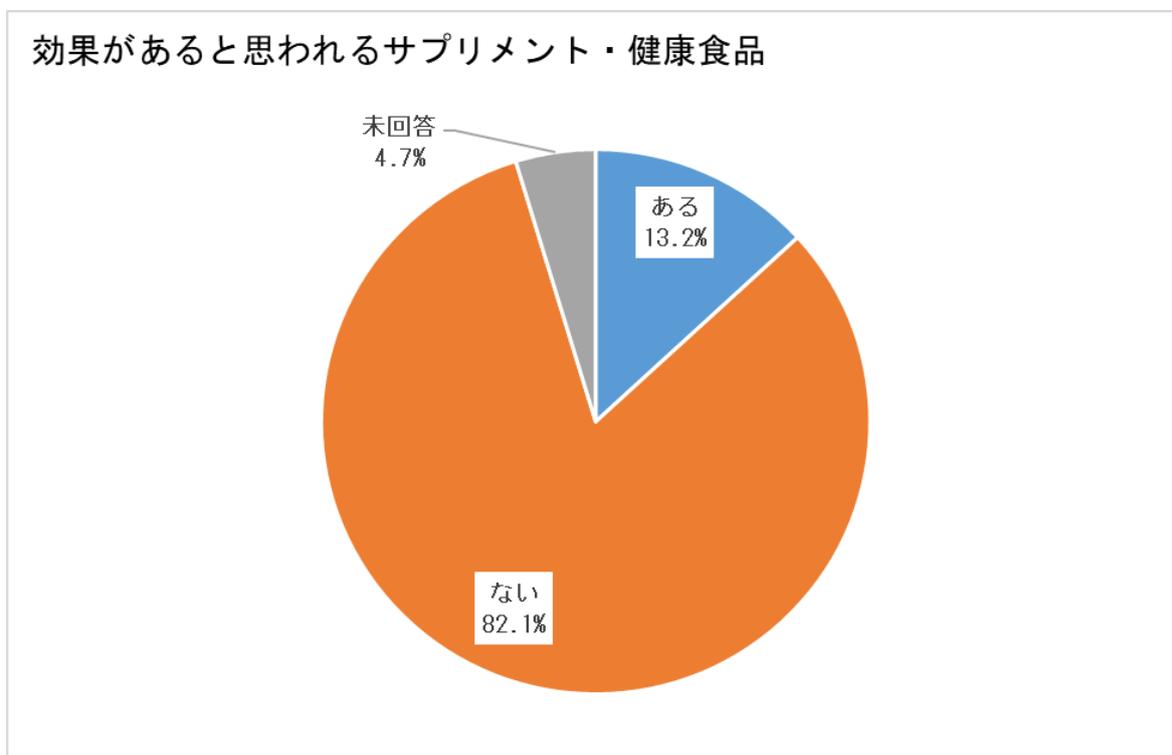
- ・野菜摂取量についてみると、「70g以上140g未満（1～2つ）」と回答した方が36.0%【35.3%】と最も多く、次いで、「70g未満（1つ未満）」22.5%【22.2%】、「140g以上210g未満（2～3つ）」19.6%【20.4%】等の順であった。



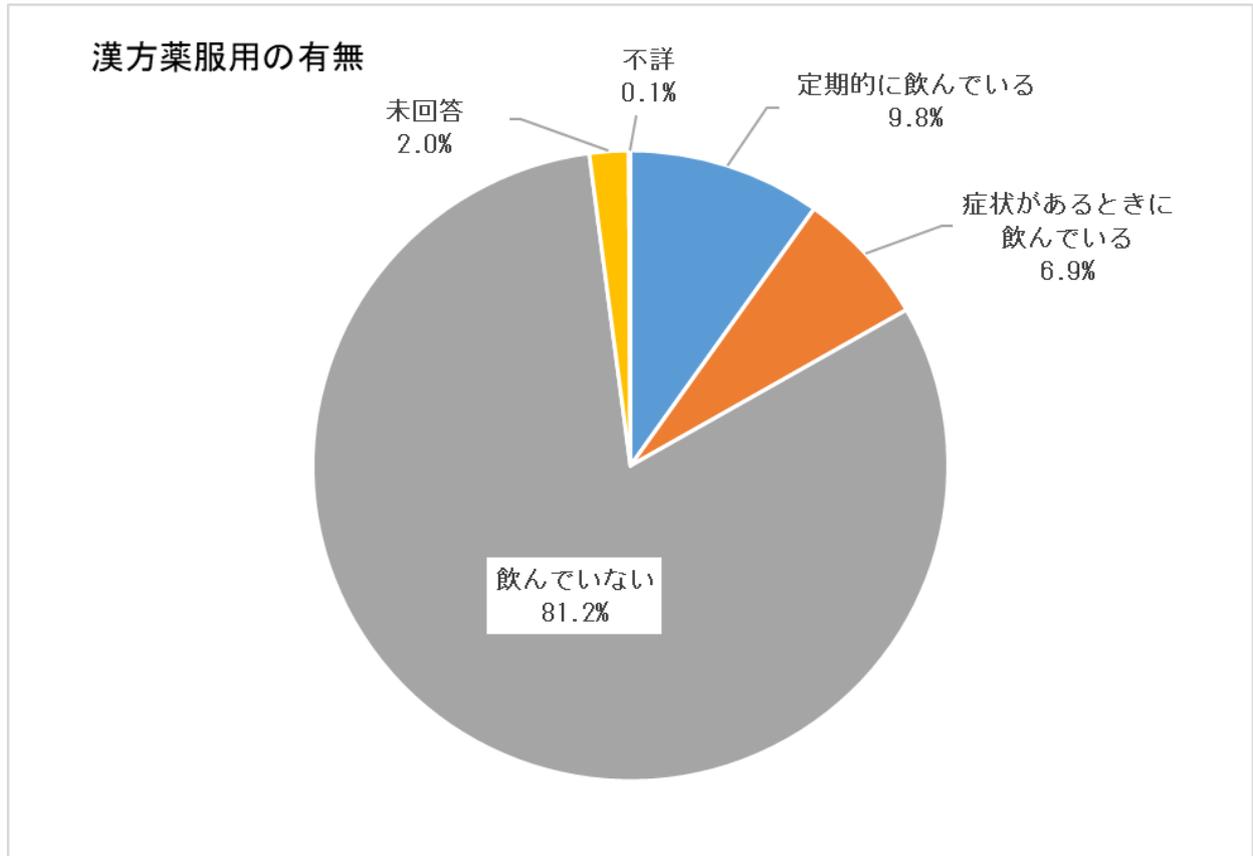
- ・果物類摂取量についてみると、「50g未満」と回答した方が53.3%【53.0%】と最も多く、次いで、「50g以上100g未満」が26.3%【26.8%】、「100g以上150g未満」が15.7%【16.2%】等の順であった。



- ・効果があると思われるサプリメント・健康食品の有無についてみると、13.2%【14.0%】が「ある」と回答した。



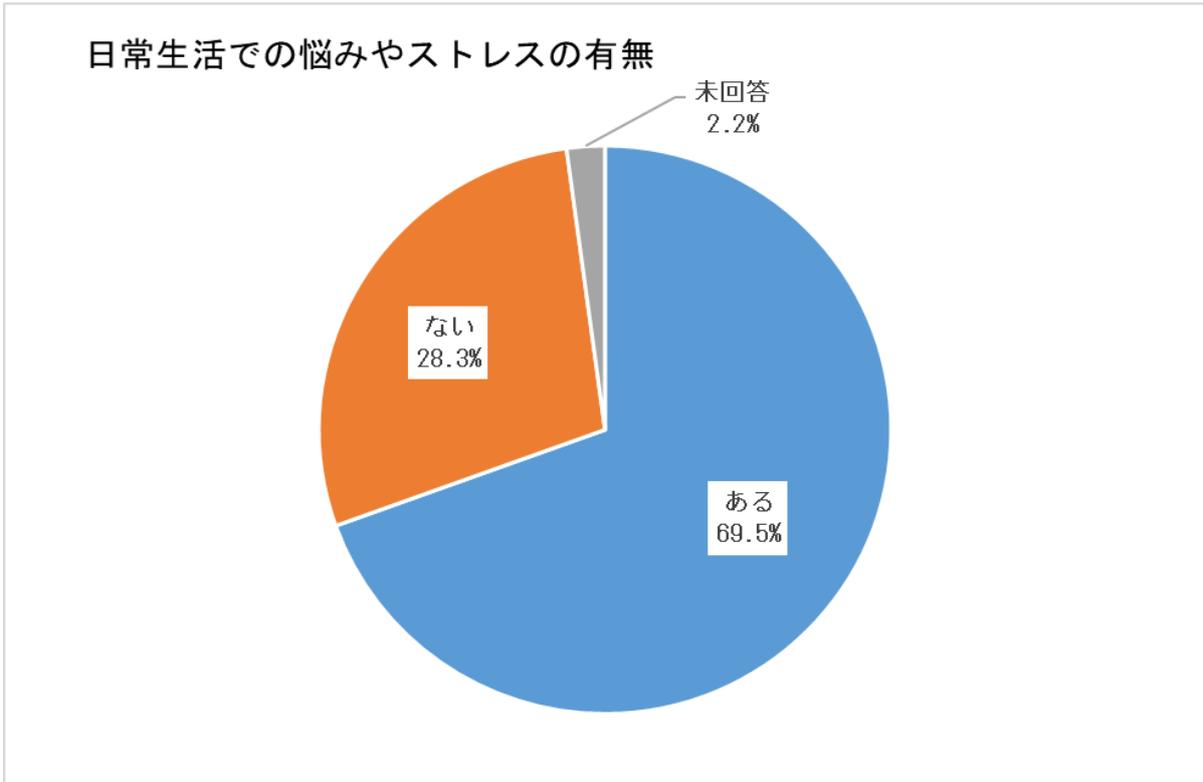
- ・漢方薬の服用の有無についてみると、「飲んでいない」と回答した方が81.2%と最も多く、次いで、「定期的に飲んでいる」が9.8%、「症状があるときに飲んでいる」が6.9%等の順であった。



- ・漢方薬について「定期的に飲んでいる」または「症状があるときに飲んでいる」と回答した256人を対象に具体的な品目名について質問したところ、「芍薬甘草湯(ツムラ68番など)」が58件と最も多く、次いで、「桂枝茯苓丸(ツムラ25番など)」が20件、「大建中湯(ツムラ100番など)」が17件等の順であった。
- ・漢方薬について「定期的に飲んでいる」または「症状があるときに飲んでいる」と回答した256人を対象に効果があったと思われる症状について質問したところ、「こむら返り(足がつる)」が61件と最も多く、次いで、「便秘・下痢」が36件、「咳」が25件等の順であった。
- ・漢方薬について「定期的に飲んでいる」または「症状があるときに飲んでいる」と回答した256人を対象に効果が無かったと思われる症状について質問したところ、「手足のしびれ」が25件と最も多く、次いで、「皮膚症状」が20件、「咳」「倦怠感(体がだるい)」「不眠」がいずれも19件等の順であった。

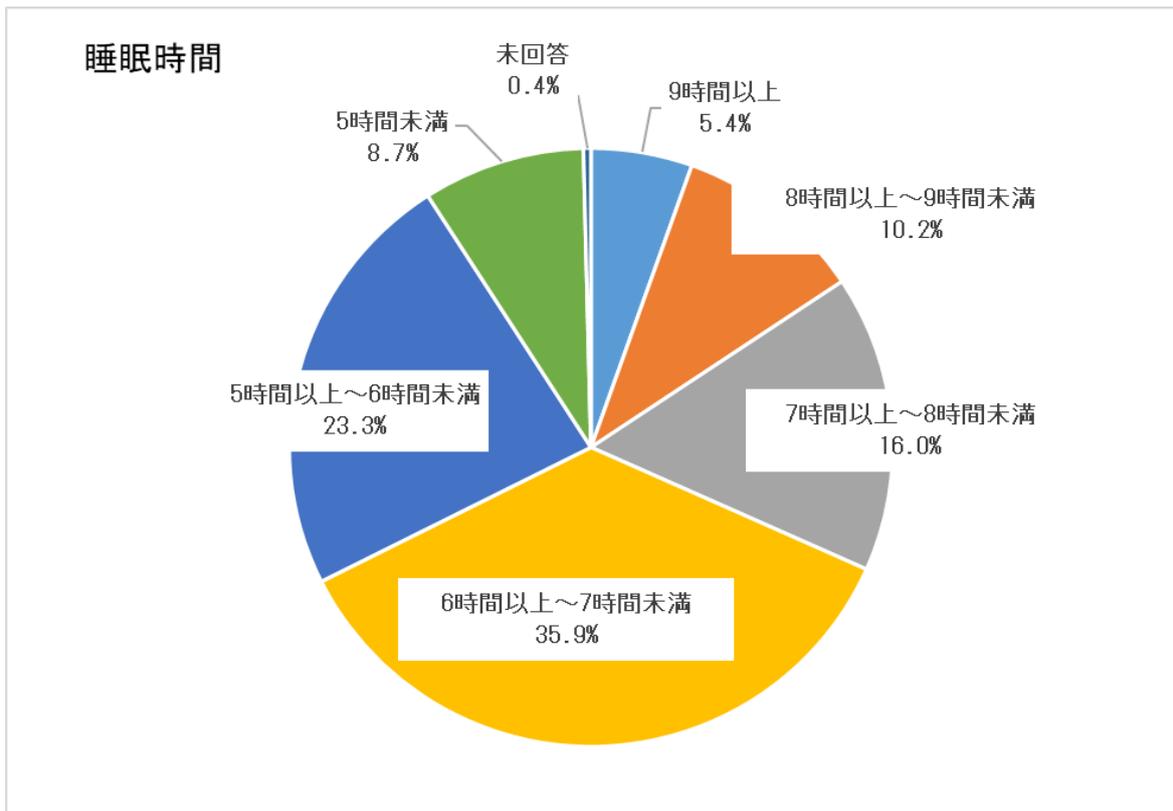
(4) 健康・悩み・ストレス・睡眠について

・日常生活での悩みやストレスの有無について、「ある」と回答した方は69.5%【72.9%】であった。



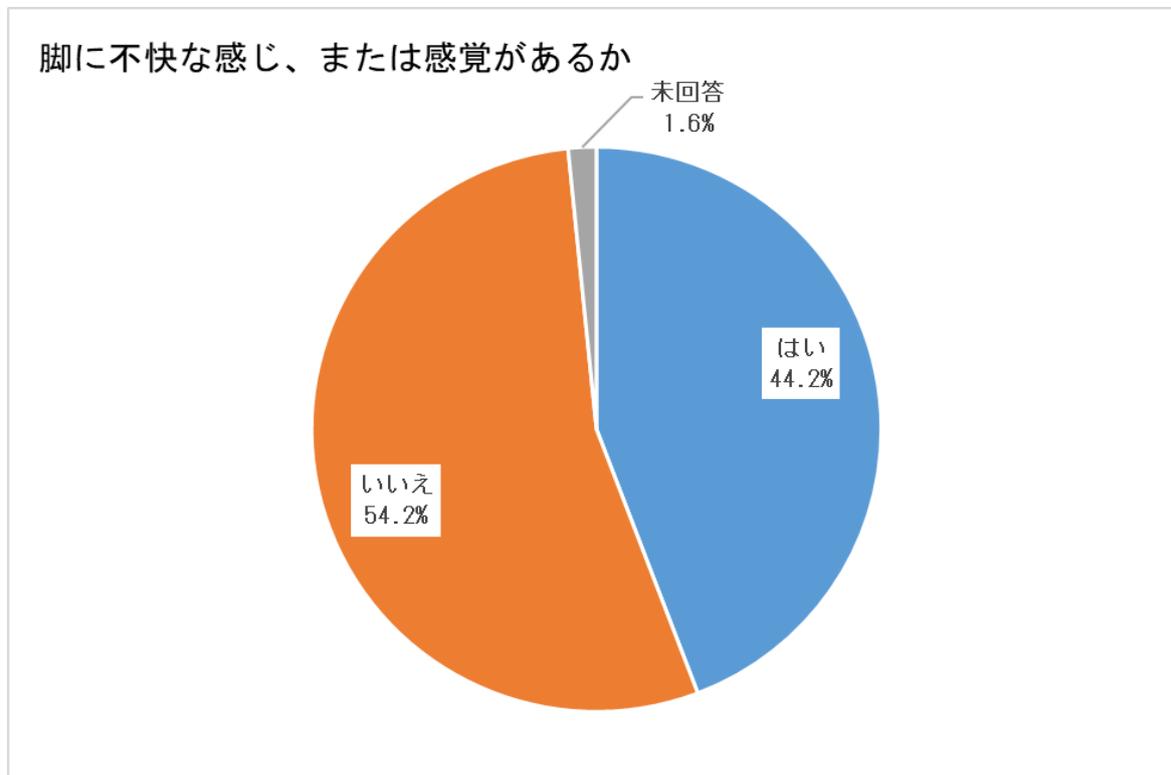
・日常生活での悩みやストレスがあると回答した935人【935人】を対象に、悩みやストレスの最も気になる原因（1つ）を質問したところ、「自分の健康状態、病気や介護」と回答した方が359人(41.2%)【359人(38.4%)】と最も多かった。

・睡眠時間についてみると、「6時間以上7時間未満」と回答した方が35.9%【34.1%】と最も多く、次いで、「5時間以上6時間未満」が23.3%【22.9%】、「7時間以上8時間未満」が16.0%【18.8%】等の順であった。

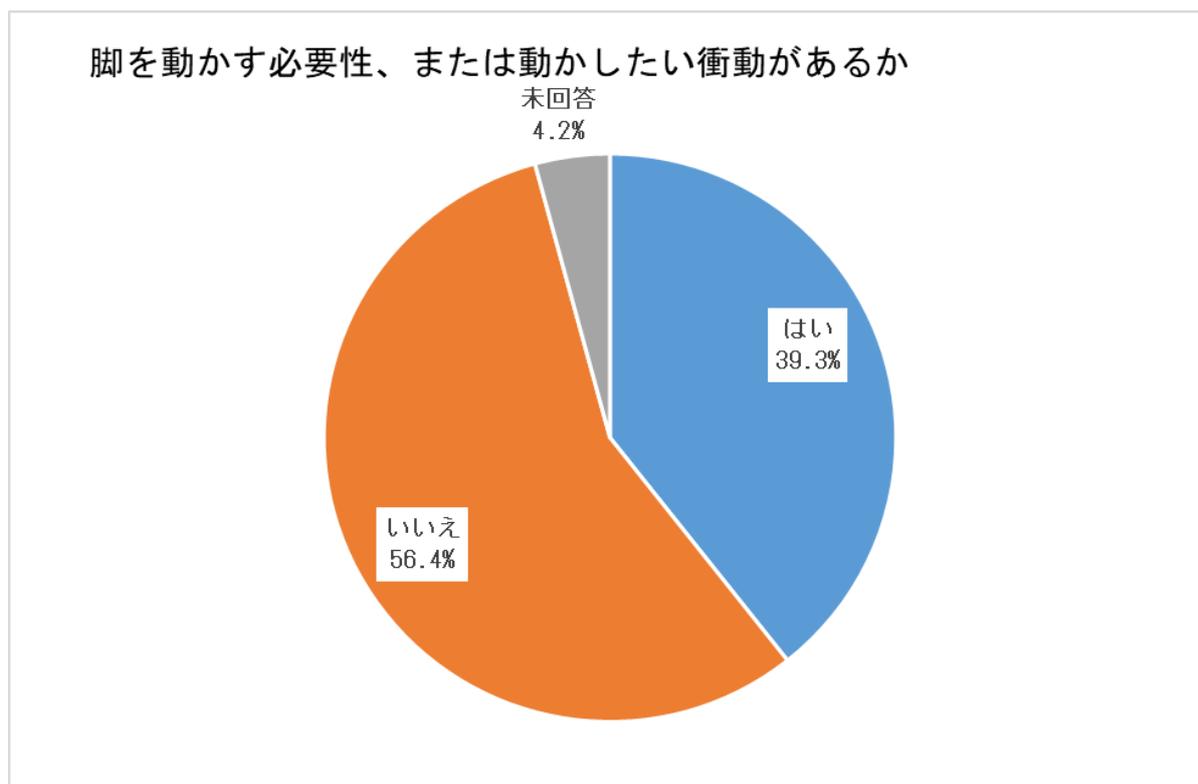


・睡眠時間のとれている度合いについてみると、「夜間、睡眠途中で目が覚めて困った。」と回答した方が46.6%【45.7%】と最も多く、次いで、「日中、眠気を感じた。」が36.4%【36.6%】、「睡眠全体の質に満足できなかった。」が35.1%【32.9%】等の順であった。

・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚があるかについてみると、「はい」と回答した方は44.2%【45.6%】であった。



・座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動があるかについてみると、「はい」と回答した方は39.3%【39.2%】であった。



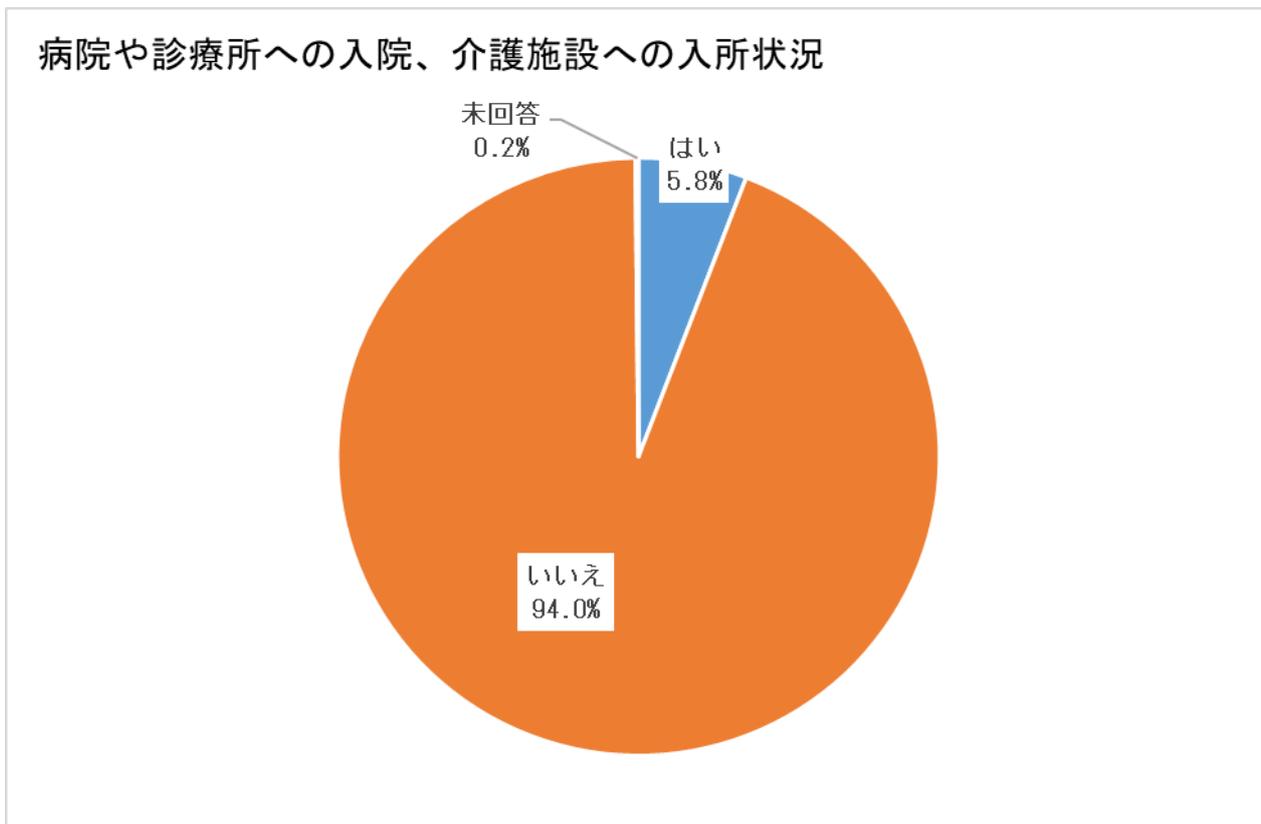
・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚があるかについて「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動があるかについて「はい」と回答した601人【621人】を対象に、休んでいるとき（座っているとき、または横になっているとき）と、体を動かしているときのどちらでこのように感じやすいかについて質問したところ、「休んでいるとき」と回答した方が292人（48.6%）【296人（47.7%）】と最も多かった。

・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚があるかについて「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動があるかについて「はい」と回答した人の、このような感じがするときに起き上がったり、動き回ったりすると、実際に動き続けているあいだは、その感じはいくらかでも軽くなるかについてみると「はい」が356人（59.2%）【342人（55.1%）】と最も多かった。

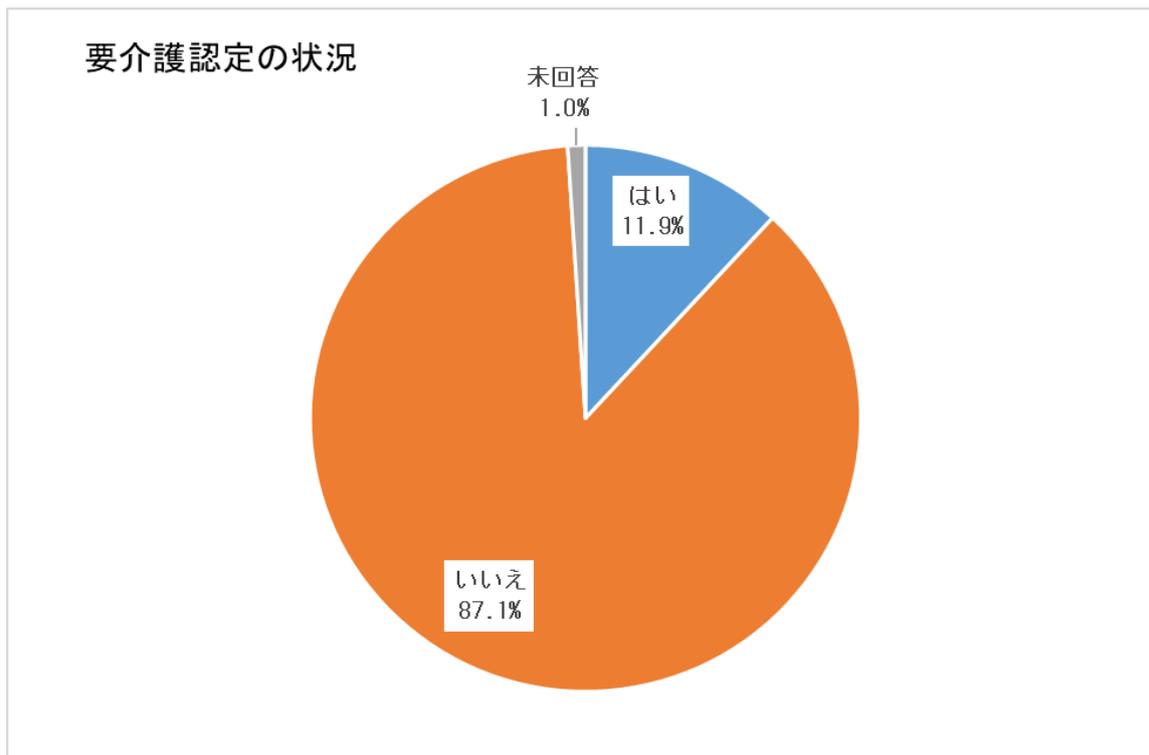
・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚があるかについて「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動があるかについて「はい」と回答した人の、脚のこの感じは1日のうちどの時間帯でもっとも起こりやすいかについては、「夜」が241人（33.8%）【246人（39.6%）】と最も多かった。

(5) 介護や日常生活動作の状況について

・病院や診療所への入院、介護施設への入所状況についてみると、5.8%【6.6%】の方が入院中もしくは入所中であった。



- ・要介護認定の状況についてみると、149人（11.9%）【162人（12.6%）】、男性55人（9.3%）【55人（9.0%）】、女性94人（14.2%）【107人（15.9%）】の方が要介護認定を受けていた。



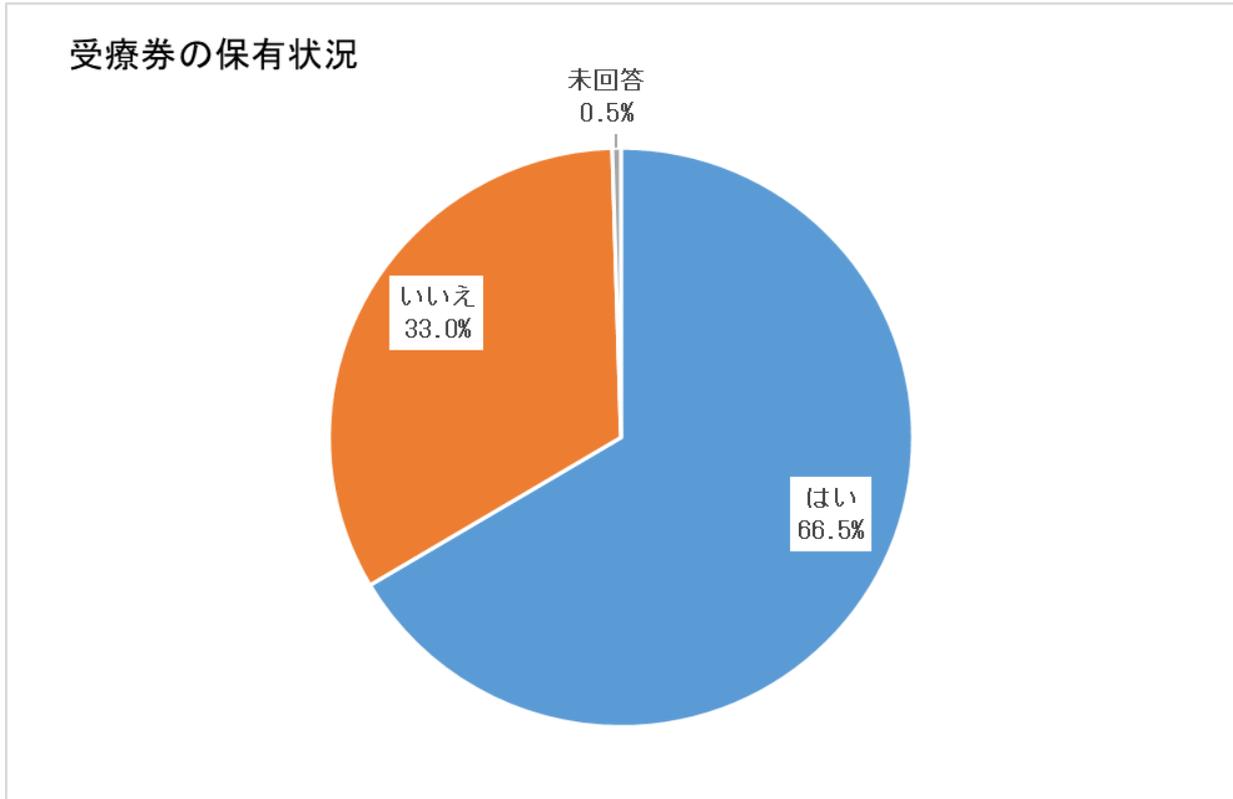
- ・また、要介護認定を受けている149人の方に現在利用している介護サービス（当てはまるものすべて）を質問したところ、「通所介護（デイサービス）」が31.5%【27.8%】と最も多く、次いで、「ホームヘルパーの訪問介護・訪問看護」が18.1%【18.5%】等の順であった。

(6) 現在の治療状況について

- ・現在の受診頻度についてみると、「毎月1～3回程度」が46.4%【46.9%】と最も多く、次いで、「数か月に1回程度」が29.0%【27.5%】等の順であった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した方は、71人（5.7%）【138人（10.8%）】で、男性29人（4.9%）【60人（9.8%）】、女性42人（6.4%）【78人（11.6%）】であった。
- ・また、新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した人を対象に、受診頻度に変化（減少）した理由を質問したところ、「病院で新型コロナウイルスに感染するかもしれないため」と回答した方が36人（50.7%）【87人（63.0%）】と最も多かった。
- ・医師から処方されている薬があると回答した方は、917人（73.2%）【932人（72.7%）】で、男性412人（69.5%）【422人（69.2%）】、女性505人（76.5%）【510人（75.9%）】であった。

(7) 油症患者受療券（受療券）の利用状況について

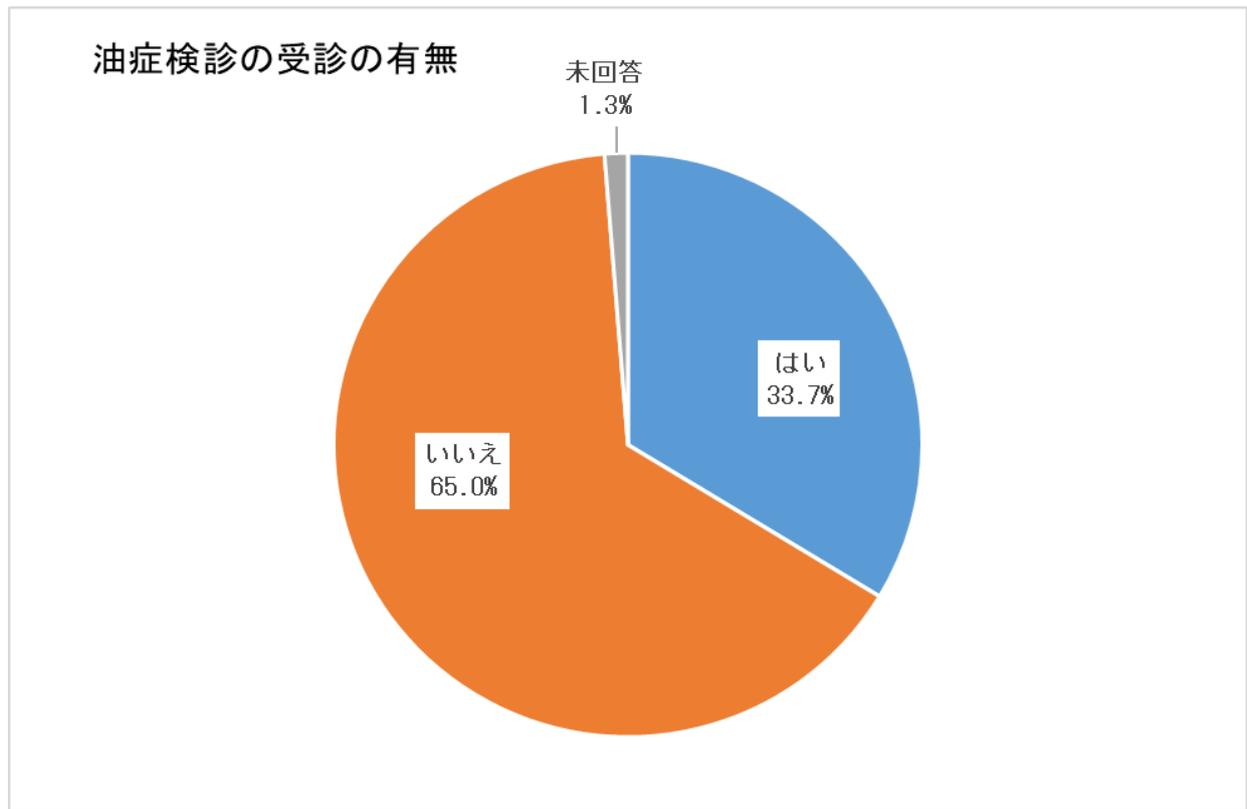
- ・受療券の保有状況についてみると、受療券を持っていると回答した方は833人（66.5%）【858人（66.9%）】で、男性385人（64.9%）【400人（65.6%）】、女性448人（67.9%）【458人（68.2%）】であった。



- ・受療券を持っていると回答した833人のうち503人（60.4%）【512人（59.7%）】が、この1年間、受療券を使用せずに受診した経験があると回答した。
- ・受療券を使用せずに受診した経験があると回答した人を対象に、受療券を使用せずに受診した理由を質問したところ、342人（68.0%）【340人（66.4%）】の方が「受療券を利用できない医療機関のため」と回答した。
- ・受療券を所持していないと回答した414人（32.1%）【411人（32.1%）】を対象に、受療券を持たない理由を質問したところ、「他の人に油症患者であると知られてしまうと思うから」と回答した方が157人（37.9%）【163人（39.7%）】と最も多かった。
- ・受療券の利用を希望する医療機関があるか質問したところ、66人（5.3%）【82人（6.4%）】の方が「はい」と回答した。

(8) 油症検診について

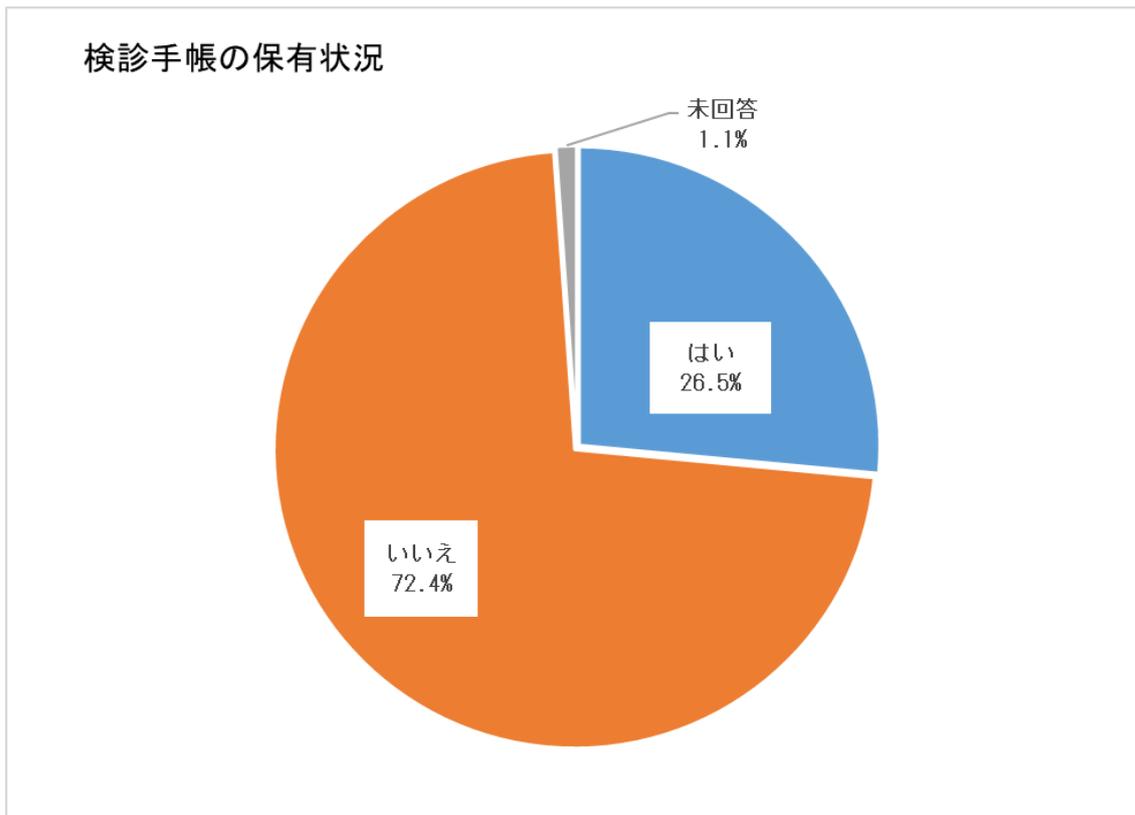
- ・油症検診の昨年度の受診状況についてみると、受診したと回答した方は、422人（33.7%）【344人（26.8%）】であった。



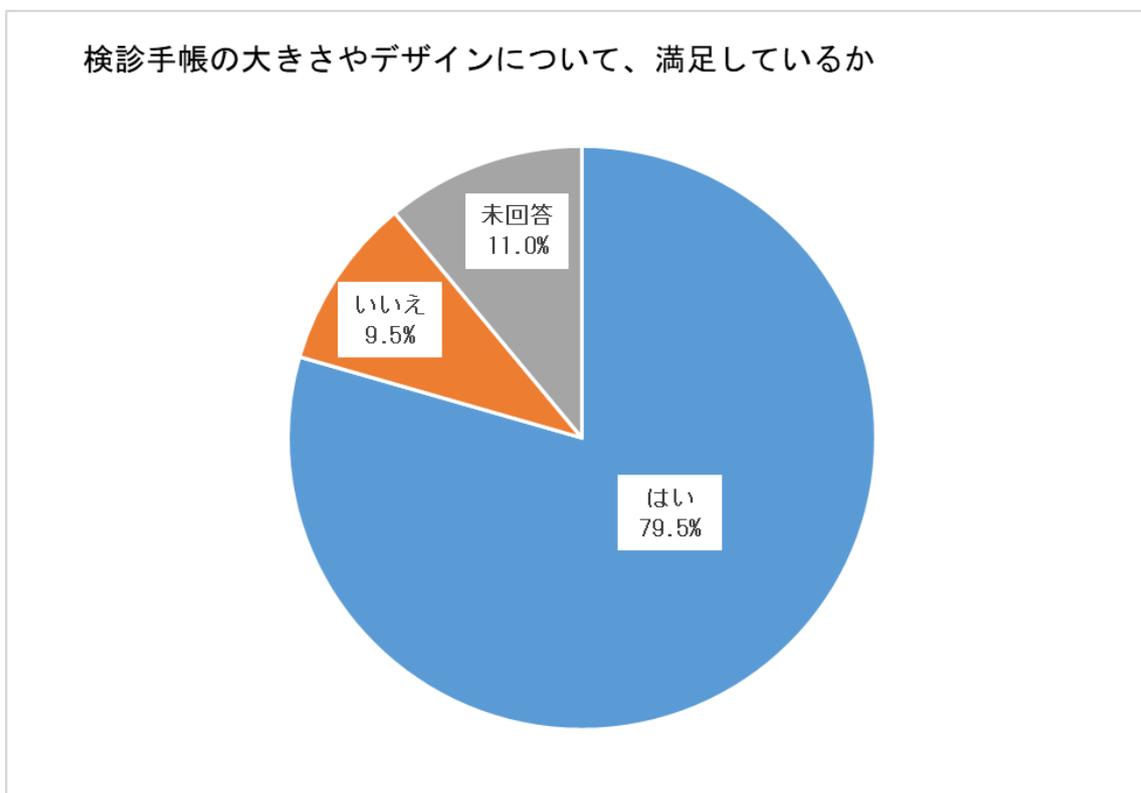
- ・油症検診を受診していないと回答した 815 人 (65.0%) 【926 人 (72.2%)】を対象に、受診しなかった主な理由を質問したところ、「仕事などで都合がつかなかったから」と回答した方が 178 人 (21.8%) 【157 人 (16.9%)】と最も多かった。

(9) 検診手帳の利用状況について

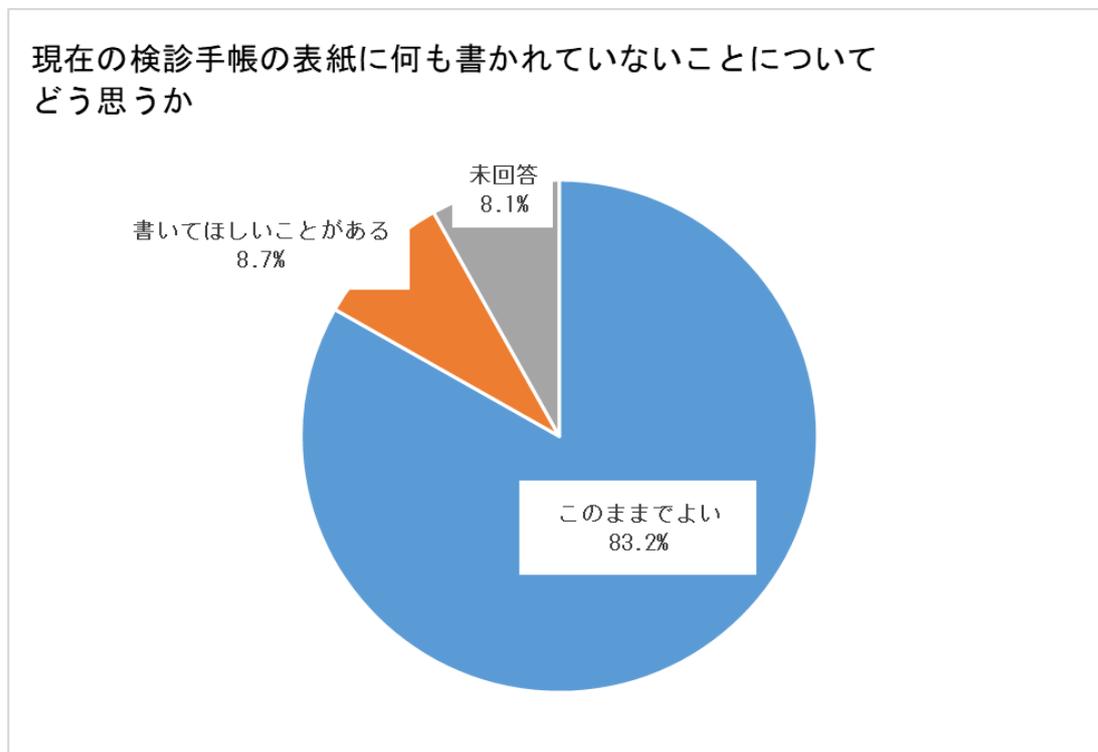
- ・ 検診手帳の保有状況についてみると、手帳を保有していると回答した方は、332人(26.5%)であった。



- ・ 検診手帳の大きさやデザイン（表紙の中面に設けているポケットの使い勝手など）について、満足しているかを質問したところ、満足していると回答した方は275人(79.5%)であった。

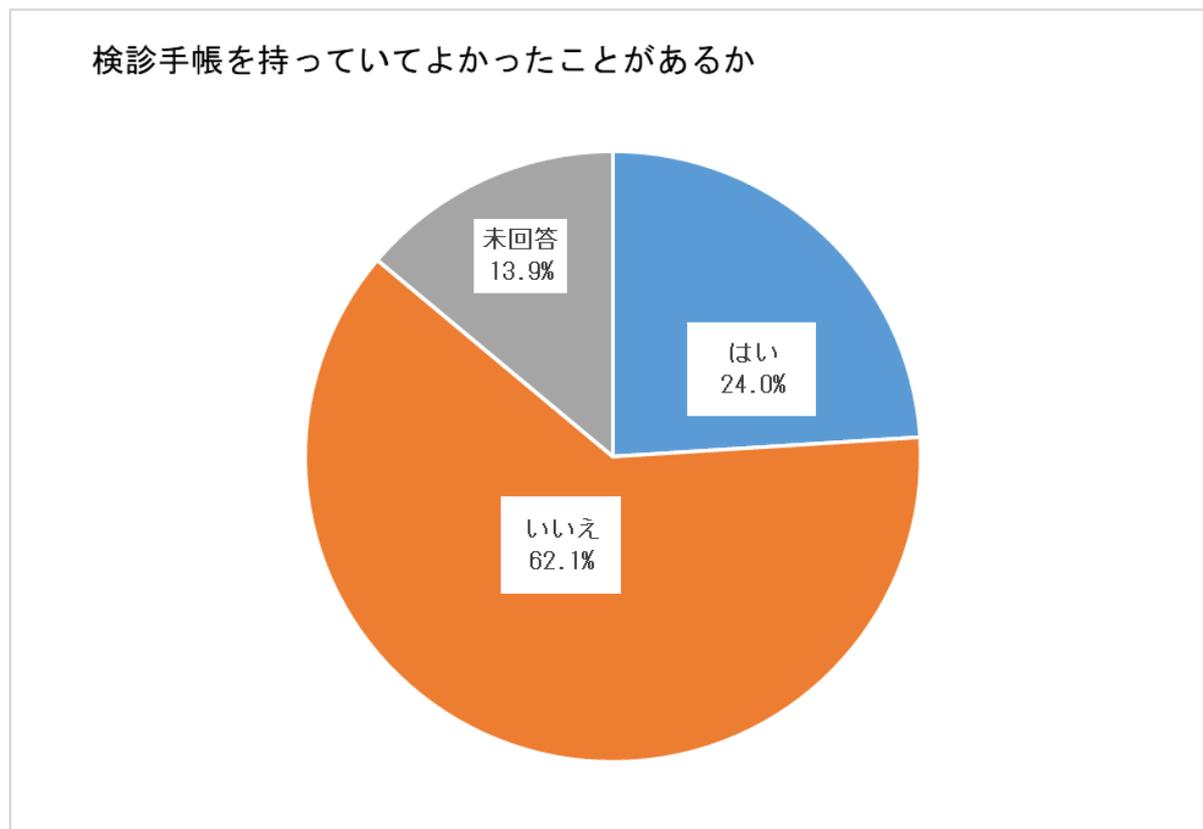


- ・ 検診手帳の大きさやデザインについて、満足していないと回答した33人（9.5%）を対象に改善して欲しい点について質問したところ、「その他」が13件と最も多く、次いで、「サイズが大きすぎるので、小さくしてほしい」が12件等の順であった。
- ・ 現在の検診手帳の表紙に何も書かれていないことについてどう思うか質問したところ、「このままでよい」と回答した方は288人（83.2%）であった。



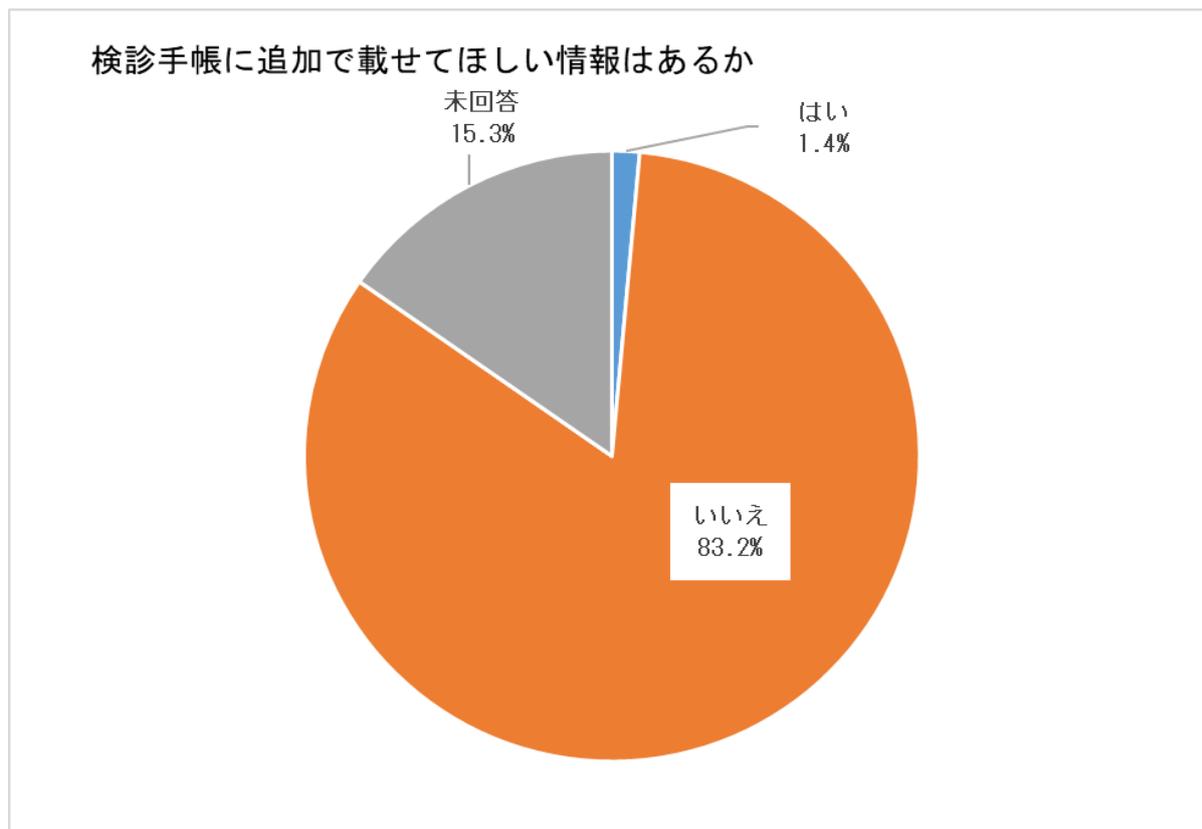
- ・ 現在の検診手帳の表紙に何も書かれていないことについてどう思うかの質問に「書いてほしいことがある」と回答した30人を対象に手帳の表紙に書いてほしいことについて具体的に何か質問したところ、「油症患者用の手帳であることがわかる記載」が23件、次いで、「発行者(厚生労働省)がわかる記載」が16件等の順であった。

- ・検診手帳を持っていてよかったことがあるか質問したところ、「はい」と回答した方は83人(24.0%)であった。



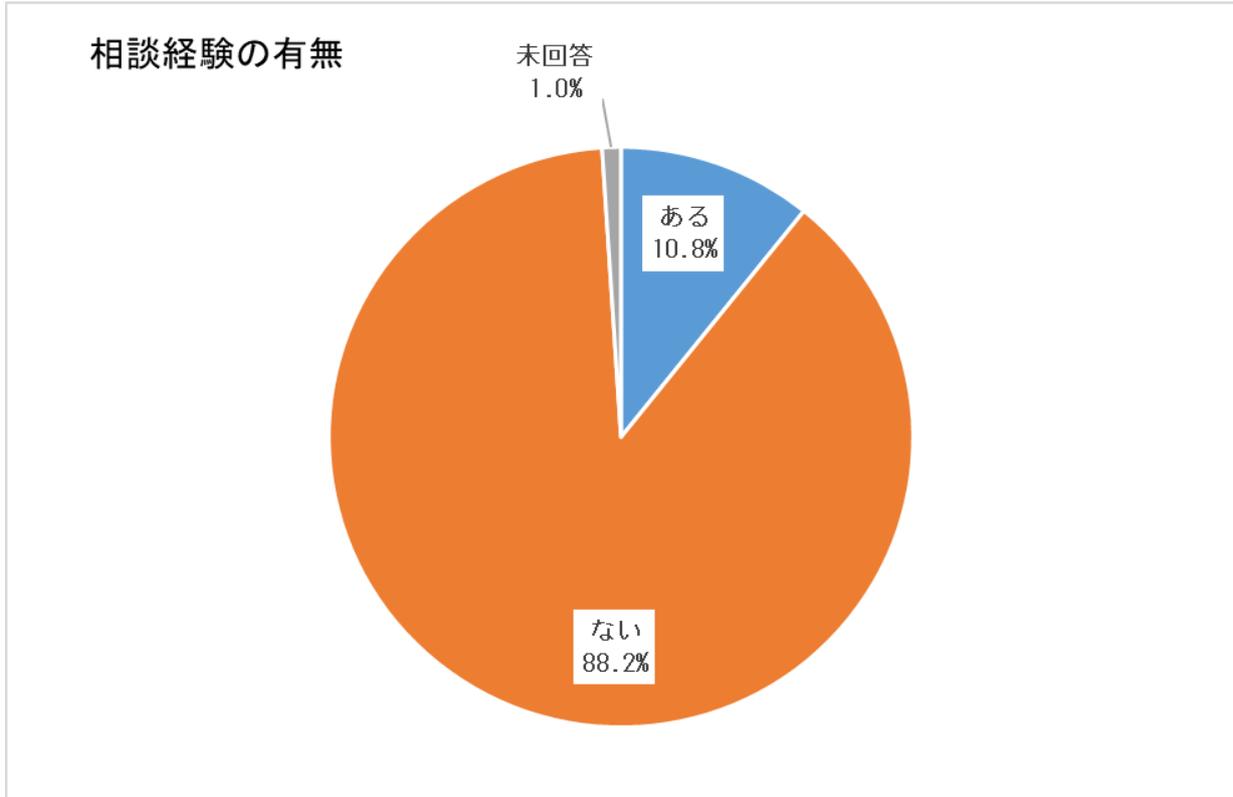
- ・検診手帳を持っていてよかったことがあるかの質問に「はい」と回答した方は83人を対象に検診手帳を持っていてよかったことについて具体的に何か質問したところ、「これまでに受けた治療内容や検診結果などを管理しやすい」が51件、次いで、「医療機関の受付や診察等に当たって検診手帳を出すと、すぐに事情を理解してもらえ、適切な対応をしてもらえた」が32件等の順であった。

- ・検診手帳に追加で載せてほしい情報はあるか質問したところ、「はい」と回答した方は 5人(1.4%)であった。

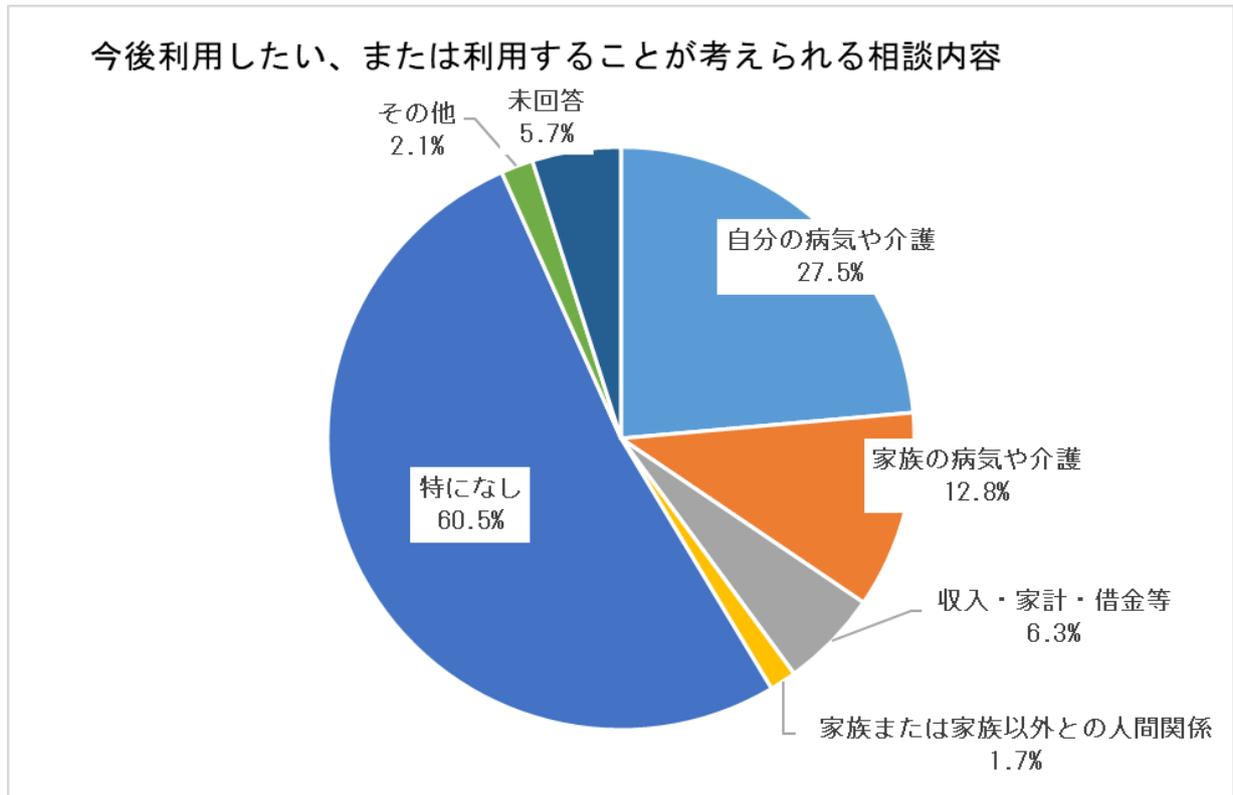


- ・検診手帳を保有していないと回答した方を対象に、検診手帳を持たない理由を質問したところ、「検診手帳というものがあること自体知らなかったから」が584件、次いで、「他の人に油症患者であると知られてしまうと思うから」が 123件等の順の順であった。

(10)相談体制について・油症相談員や都道府県の相談窓口への相談状況についてみると、相談したことがあると回答した方は、135人(10.8%)【148人(11.5%)】であった。



・相談したことがないと回答した1,105人(88.2%)【1,121人(87.4%)】を対象に、今後利用したい、または利用することが考えられる相談内容を質問したところ、「特になし」と回答した方が669人(60.5%)【668人(59.6%)】と最も多く、次いで、「自分の病気や介護」と回答した方が304人(27.5%)【302人(26.9%)】、「家族の病気や介護」が141人(12.8%)【150人(13.4%)】等の順であった。

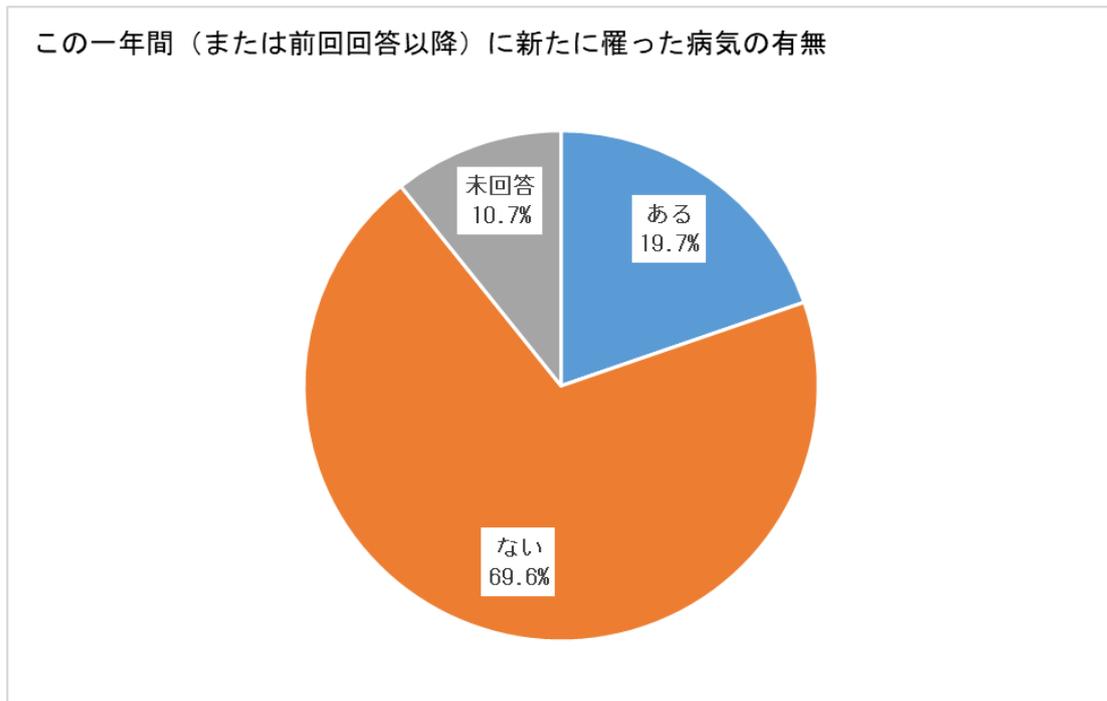


(11)本調査の回答状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてかどうかをみると、10人（0.8%）【11人（0.9%）】の方が「はい」と回答した。

(12) 本調査が初めてではない方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてではないと回答した1,224人（97.7%）【1,259人（98.2%）】の方に、この一年間（または前回回答以降）に新たに罹った病気の有無を質問したところ、241人（19.7%）【240人（19.1%）】の方が「はい」と回答した。



- ・この一年間（または前回回答以降）に新たに罹った病気があると回答した人に、具体的な病名を記述式で質問したところ、「高血圧症」が14人（5.8%）と最も多く、次いで、「白内障」が12人（5.0%）、「骨折」が11人（4.6%）等の順であった。
- ・この一年間（または前回回答以降）に新たに罹った病気があり具体的な病名を記述式で回答した237人【232人】に、現在の治療状況を確認したところ、191人（80.6%）【173人（74.6%）】の方が「医療機関で治療中」と回答した。

(12) 本調査が初めての方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてと回答した10人（0.8%）を対象に、これまで罹ったことがある病気等の状況を調査したところ、
- ・悪性腫瘍（がん）について、これまで罹ったことがあるか質問したところ、該当なしであった。
- ・脳・精神・神経の病気について、これまで罹ったことがある病気をみると、「その他」と回答した方が3件（30.0%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」2件（20.0%）、「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・自律神経系の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「不眠」と回答した方が2件（16.7%）と最も多く、すべて「治療していない」であった。
- ・眼の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「白内障」と回答した方が6件（60.0%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」3件（30.0%）、「医療機関での治療をへて治癒」2件（20.0%）、「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・口の中の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「歯周病（歯槽膿漏）」と回答した方が3件（30.0%）と最も多く、その中で「医療機関での治療をへて治癒」1件（10.0%）、「治療していない」が2件（20.0%）であった。
- ・耳・鼻の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「中耳炎」、「真珠腫性中耳炎」が共に2件（20.0%）と最も多く、その中で「中耳炎」は「医療機関で治療をへて治癒」2件（20.0%）、「真珠腫性中耳炎」は「医療機関で治療をへて治癒」1件（10.0%）、「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・甲状腺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、該当なしであった。
- ・のど・気管支・肺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「肺炎」「せき」「たん」と回答した方がいずれも2件（20.0%）と最も多く、その中で「肺炎」は「医療機関での治療をへて治癒」1件（10.0%）、「治療していない」1件（10.0%）、「せき」は「治療していない」2件（20.0%）、「たん」は「治療していない」2件（20.0%）であった。
- ・心臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「動悸(異状にドキドキする)」と回答した方が1件（10.0%）と最も多く、その中で「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・高血圧や血管の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「高血圧」と回答した方が4件（40.0%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」3件（30.0%）、「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・肝臓・胆のう・脾臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「胆石症」と回答した方が1件（10.0%）と最も多く、その中で「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・すい臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「すい炎」「糖尿病」と回答した方が共に1件（10.0%）と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。
- ・腎臓・膀胱の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「膀胱炎」と回答した方が3件（30.0%）と最も多く、その中で「医療機関での治療をへて治癒」1件（10.0%）、「治療していない」2件（20.0%）であった。
- ・食道・胃・腸・肛門の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「便秘」「逆流性食道炎」「その他」がいずれも3件（30.0%）と最も多く、その中で「便秘」は「医療機関で治療中」2件（20.0%）、「治療していない」1件（10.0%）、「逆流性食道炎」は「医療機関で治療中」1件（10.0%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（10.0%）、「治療していない」1件（10.0%）、「その他」は「医療機関での治療をへて治癒」2件（20.0%）、「治療していない」1件（10.0%）であった。
- ・血液・リンパの病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「脂質異常症」と回答し

- た方が1件（10.0%）と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。
- ・男性に対し、前立腺・男性機能に関する病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、「前立腺肥大」と回答した方が2件（33.3%）と最も多く、すべて「治療していない」であった。
 - ・女性に対し、子宮・卵巣・婦人科系の病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、該当なしであった。
 - ・初経の年齢を回答した4人の平均年齢は、12.3歳であった。
 - ・閉経の年齢を回答した4人の平均年齢は、51.7歳であった。
 - ・不妊症についてみると、該当なしであった。
 - ・妊娠回数についてみると、「0回」「2回」「3回」「5回」と回答した方がいずれも1件（25.0%）であった。
 - ・記載のあった妊娠中の状況を集計してみると、「とくになし」が10件（100.0%）であった。
 - ・記載のあった出産等の状況を集計してみると、「正常分娩」が9件（90.0%）であった。
 - ・記載のあった出産時の出血量を集計してみると、「中」が4件（40.0%）であった。
 - ・記載のあった新生児の状況を集計してみると、「とくになし」が8件（80.0%）であった。
 - ・骨・関節の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「骨折」「肩こり」「腰痛」と回答した方がいずれも3件（30.0%）と最も多く、その中で「骨折」は「医療機関での治療をへて治癒」3件（30.0%）、「肩こり」「腰痛」は「治療していない」3件（30.0%）であった。
 - ・皮膚・爪の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「皮膚の掻痒(かゆみ)」と回答した方が4件（40.0%）と最も多く、すべて「治療していない」であった。
 - ・アレルギー疾患について、これまで罹ったことがある病気をみると、「蕁麻疹」と回答した方が4件（40.0%）と最も多く、その中で「医療機関での治療をへて治癒」2件（20.0%）、「治療していない」2件（25.0%）であった。
 - ・膠原病について、これまで罹ったことがある病気をみると、「関節リウマチ」と回答した方が2件（20.0%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」1件（10.0%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（10.0%）であった。
 - ・その他の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「全身倦怠感(体がだるい)」「手足のしびれ」と回答した方がいずれも3件（30.0%）と最も多く、その中で「全身倦怠感(体がだるい)」は「医療機関で治療中」1件（10.0%）、「治療していない」2件（20.0%）、「手足のしびれ」はすべて「治療していない」であった。

(11) 自由記載欄について

本調査では、「これまでの症状や病気について、書ききれなかったことや、特に研究してもらいたいこと、要望など」について自由記入欄を設けたところ、213人【238人】から回答があった。

※主な記載内容

- ・自分、家族の健康に関する不安、生活上のストレス等について181件【166件】
- ・職業（仕事）に関する苦勞について3件【3件】
- ・経済的な苦勞について20件【11件】
- ・治療法の研究開発への要望、期待36件【31件】
- ・病院、医師、検診に関する要望16件【14件】
- ・行政機関に対する要望80件【39件】
- ・カネミ倉庫に対する要望3件【1件】
- ・その他85件【103件】